

日本社会福祉系学会連合 公開研究会のご案内

「災害福祉研究—災害予防、対応時における 多職種連携のあり方—」

2016年4月14日の熊本県熊本地方を震央とする地震により、多くの尊い人命が失われ、今なお生活を再建できない人たちがいます。日本はこれまで大きな災害が起こると、数多くの福祉関係者が、医療スタッフ、行政担当者、ボランティアなど他職種と連携し活動を続けてきました。そして今回の熊本地震でもその重要性が改めて認識されました。そこで日本社会福祉系学会連合は、「災害福祉研究—災害予防、対応時における多職種連携のあり方—」をテーマとする公開研究会を開催いたします。皆さま奮ってご参加ください。

開催日時 2016年12月17日(土)13:00～16:30

開催場所 日本大学文理学部キャンパス 3号館3階 3301教室

会場アクセス <https://www.chs.nihon-u.ac.jp/access/> (日本大学文理学部HP)

発題者

笹岡真弓氏 (文京学院大学・教授)

小早川義貴氏 (国立病院機構災害医療センター福島復興支援室)

奥田博子氏 (国立保健医療科学院・保健師)

菅原由紀枝氏 (高寿園・管理栄養士)

司会進行

小林良子氏 (日本司法福祉学会)

* 入場無料

* お申し込み 日本社会福祉系学会連合事務局

union-jssw@kokusaibunken.jp (12月15日締め切り)